

学校法人帯広大谷学園未来メッセージ 最優秀作品（区分A：中1⇒高1部）

タイトル	16歳になった私へ
作品形式	手紙
在学学校（応募時／現在）	帯広市内中学校1年／帯広市内公立高校1年
氏名	S・M

16歳になった私へ

16歳はどんな調子ですか？一高校生として、勉強に励んでいますか。それとも、今と大して変わらずに、のんきにわらっているのでしょうか。

私は今、中学1年生です。4月からは、中学2年生、先輩になります。また、私は今、生徒会書記を務めています。覚えていますか？「生徒会に入りたい」から、帰宅部になったことを。そしてなぜか、それが少し自慢気だったことを。

ところでこの手紙を読んでいる16歳の私に夢はありますか？職業でなくてもいい、全力で情熱を注げるような夢はありますか？

あるのだとしたら、分不相応だとか、似合わないとか、そんなことは絶対に考えないで。その夢に向かって必死にもがいて下さい。必死に、全力で体当たりして下さい。

この手紙を書いている私には、まだ、全力でおいかけられるような夢がありません。学校の教育相談の用紙の夢の欄には、小学校の教師・出版系の仕事、と書きました。でもそれは、なってみたいとは思っても、別になれなくたって何でもないような夢なんです。

私は夢を手に入れる前段階として、自分を知らうとしました。私は何が好きなんだろう、とか、何が得意で、何がしたいんだろう、とか。そういったことです。

でも、どれも、大したことじゃなくて。本が好きで作家を目指したこともあるけど、物語が完結したことはありません。勉強はそこそこできても、極めたいとは思わない。したいことは、好きな芸能人の冠番組を見ることでした。

夢がないのは、不安です。周りから、おいていかれる気がするから。目指すべきものが、未来の自分が想像できないから。

だから、もし、もしも。16歳の私に、夢があるなら、その夢に向かって必死にもがいて、体当たりしてほしいんです。せっかくみつけた夢を、自分から捨てないでほしいんです。

夢がないなら、ないなりに、昔の自分もそうだったんだって、少し励まされてほしいです。その時がくるまで、私は過去で全力を尽くしていきます。勉強頑張ります。

13歳の私との約束です。

